

AGILIT を利用した次世代セキュアオフィス

- AGILITによるSBCホスティングサービス -

注目を集める シンクライアント・ソリューション

最近、個人情報保護法の遵守、情報漏えいやデータ流出に対する危機意識の高まりを受け、情報セキュリティ強化策の一環として、シンクライアントによるソリューション、すなわちSBC(サーバベースコンピューティング)が注目を集めている。

- ・ハードディスクがない=機器の中にデータがない
- ・サーバとネットワークで接続し、すべてをサーバで処理する
- ・シンクライアントは、画面表示・入力といったユーザーインタフェースのみを提供する

シンクライアント・ソリューションは、ウイルスなどを完全に防げる専用端末、カード認証による高いセキュリティ保持、低価格、陳腐化しない、管理コストの激減というメリットがある。

次世代セキュアオフィスは、 ちょっと立ち寄る共用事務所を提供

サン・マイクロシステムズ社他数社は、AGILITホスティングを用いた「次世代セキュアオフィス」の提供を開始した。

「私どもでは、ARA/ANAという

商品名で既存PCを利用したシンクライアントソリューションを既に提供していますが、加えてサン・マイクロシステムズのSun Rayサーバをホスティングし、カードを1枚持って歩くだけで、営業所に設置したSun Ray端末から業務サーバにアクセスできるようなサービスの基盤提供への拡大も図っています。今般マーケティング活動の一環としてこれを拡大し複数のお客さまに対して“ちょっと立ち寄る共用事務所”をコンセプトにしたのがAGILITを利用した次世代セキュアオフィスです。」(NTTコミュニケーションズ株式会社 ITマネジメントサービス事業部 ビジネス基盤サービス部 担当部長 高尾 司氏)

図1に示すように、Sun RayサーバをAGILIT DCにホスティングし、顧客の既存業務サーバ、Sun Ray端末を設置したセキュアオフィスをNTTコミュニケーションズの統合VPN等で結び、複数の顧客に外出先の最寄りのセキュアオフィス

にちょっと立ち寄り、仮想オフィスを実現しようというものである。

ローカルOSなし、端末の設定・管理が不要、ウイルス感染の可能性が低い、作業状態の可搬性あり(移動可能) 端末のアップグレードが不要、CPU、メモリの最適配分あり、管理が容易といったSun Rayの特長に加え、AGILIT DCで集中的にSun Rayサーバをホスティングすることで、企業にとって財務上ホスティング契約期間に関わらず経費として扱えるほか、オンデマンドによる変化への迅速な対応が行えるという特長があることから、早期に本格展開されることが期待されている。

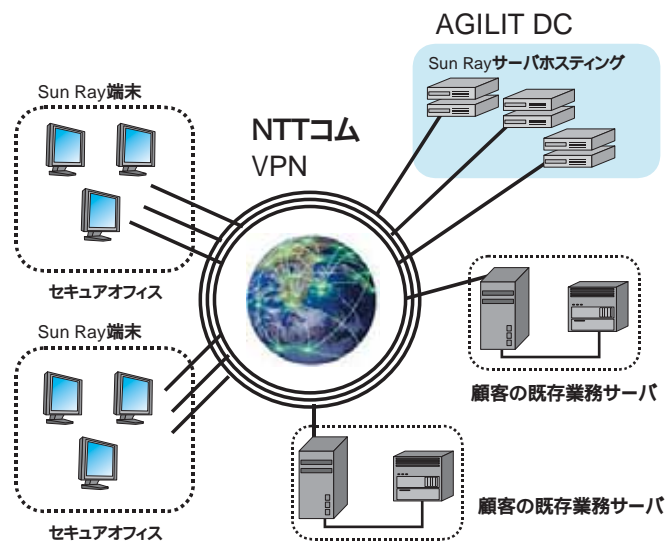


図1 AGILITを利用した次世代セキュアオフィスの概要